



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 朝日放送グループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9405 URL https://corp.asahi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)沖中 進
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)山本 憲治 (TEL)06(6458)5321
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	40,228	2.4	1,365	38.0	1,507	26.2	866	△42.5
2019年3月期第2四半期	39,280	0.9	990	19.4	1,194	17.0	1,508	145.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 480百万円(△77.1%) 2019年3月期第2四半期 2,098百万円(66.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第2四半期	21.17	—	—	—
2019年3月期第2四半期	36.91	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	117,295	69,211	55.4
2019年3月期	107,788	67,049	60.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 65,028百万円 2019年3月期 65,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2019年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
2020年3月期	—	9.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	85,000	3.7	3,700	△13.2	4,000	△12.9	2,500	△33.2	61.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社 (社名)株式会社ディー・エル・イー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	41,833,000株	2019年3月期	41,833,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	850,018株	2019年3月期	936,032株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	40,933,158株	2019年3月期2Q	40,862,655株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2019年11月18日(月)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料の概要については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の日本経済は、堅調な企業収益や雇用情勢が続く一方で、長引く米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題等、海外経済は不透明感が増えています。

このような経済状況の中、当社グループが主力事業を展開する放送事業の売上高は、テレビスポット収入は減少しましたが、テレビネット収入等の増加もあって、増収となりました。ハウジング事業の売上高は、不動産販売収入の減少等により、減収となりました。ゴルフ事業の売上高は、プレー収入の増加等により、増収となりました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は402億2千8百万円となり、前年同期に比べて9億4千7百万円(2.4%)の増収となりました。一方、費用面では売上原価が268億9千7百万円で、前年同期に比べて2億8千1百万円(1.1%)増加しました。販売費及び一般管理費については119億6千5百万円となり、2億9千1百万円(2.5%)増加しました。この結果、営業利益は13億6千5百万円となり、3億7千5百万円(38.0%)の増益、経常利益は15億7百万円で3億1千2百万円(26.2%)の増益となりました。また、特別損失として、特別退職金8千万円を計上しました。以上の結果、税金等調整前四半期純利益は14億2千6百万円で3億3千4百万円(30.7%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は8億6千6百万円となりましたが、前年同期は会社分割による税効果会計の影響等もあったことから6億4千1百万円(△42.5%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりです。

[放送事業]

放送事業の売上高は341億9千2百万円となり、前年同期に比べ16億6千5百万円(5.1%)の増収となりました。テレビネット収入の増収が主な要因です。一方、営業費用は、番組費等の増加により、4.0%増加しました。この結果、営業利益は10億円となり、3億4千3百万円(52.2%)の増益となりました。

[ハウジング事業]

ハウジング事業の売上高は55億1千7百万円となり、前年同期に比べ7億8千8百万円(△12.5%)の減収となりました。当期は不動産販売がなかったことが主な要因です。一方、営業費用は、前期の不動産販売による原価計上の反動減が主な要因で、13.6%減少しました。この結果、営業利益は4億5千4百万円となり、前年同期に比べて8百万円(2.0%)の増益となりました。

[ゴルフ事業]

ゴルフ事業の売上高は5億1千8百万円となり、前年同期に比べ7千1百万円(15.9%)の増収となりました。来場者数増加に伴うプレー収入や新規会員募集に伴う登録料収入の増加等によります。一方、営業費用は、労務費や減価償却費の増加により、3.0%増加しました。この結果、営業利益は6千万円となり、前年同期に比べて5千8百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べて95億7百万円増加し、1,172億9千5百万円となりました。社債の発行や短期借入金の増加に伴って、現金及び預金が増加したこと等によるものです。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて73億4千5百万円増加し、480億8千3百万円となりました。社債の発行や短期借入金が増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて21億6千1百万円増加し、692億1千1百万円となりました。株式会社ディー・エル・イーおよび株式会社マッシュの新規連結により非支配株主持分が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績が前年同期に比べて増収となったことに加えて、新規連結子会社の影響等を考慮し、通期連結業績予想につきましては、売上高を上方修正いたします。またテレビスポットの市況悪化による利益への影響等を見込み、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回発表予想のとおりとしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,337	27,454
受取手形及び売掛金	13,550	12,076
有価証券	200	204
たな卸資産	5,114	5,207
未収還付法人税等	312	69
その他	2,345	2,194
貸倒引当金	△9	△16
流動資産合計	37,852	47,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,721	19,327
土地	10,769	10,769
その他（純額）	7,346	7,280
有形固定資産合計	37,837	37,378
無形固定資産		
ソフトウェア	1,167	1,189
ソフトウェア仮勘定	105	86
のれん	-	368
その他	109	123
無形固定資産合計	1,381	1,767
投資その他の資産		
投資有価証券	18,406	18,653
その他	12,320	12,314
貸倒引当金	△10	△36
投資その他の資産合計	30,716	30,932
固定資産合計	69,935	70,078
繰延資産		
社債発行費	-	26
繰延資産合計	-	26
資産合計	107,788	117,295

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	-	3,310
1年内返済予定の長期借入金	240	562
1年内償還予定の社債	-	23
未払金	6,475	6,466
未払法人税等	934	511
引当金	113	48
その他	5,365	4,445
流動負債合計	13,129	15,367
固定負債		
長期借入金	740	962
社債	-	5,081
退職給付に係る負債	17,092	16,626
その他	9,777	10,047
固定負債合計	27,609	32,716
負債合計	40,738	48,083
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	5,775	5,793
利益剰余金	53,241	53,372
自己株式	△470	△426
株主資本合計	63,846	64,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,018	2,523
退職給付に係る調整累計額	△1,641	△1,533
その他の包括利益累計額合計	1,377	989
新株予約権	-	0
非支配株主持分	1,826	4,182
純資産合計	67,049	69,211
負債純資産合計	107,788	117,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	39,280	40,228
売上原価	26,616	26,897
売上総利益	12,664	13,331
販売費及び一般管理費	11,673	11,965
営業利益	990	1,365
営業外収益		
受取利息	21	10
受取配当金	142	132
その他	63	83
営業外収益合計	227	225
営業外費用		
支払利息	4	8
固定資産処分損	15	4
匿名組合投資損失	-	64
その他	2	6
営業外費用合計	22	83
経常利益	1,194	1,507
特別損失		
特別退職金	103	80
特別損失合計	103	80
税金等調整前四半期純利益	1,091	1,426
法人税等	△445	559
四半期純利益	1,536	867
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,508	866

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,536	867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	257	△494
退職給付に係る調整額	304	107
その他の包括利益合計	561	△387
四半期包括利益	2,098	480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,069	479
非支配株主に係る四半期包括利益	28	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1、2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	放送事業	ハウジング事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,527	6,305	447	39,280	—	39,280
セグメント間の 内部売上高又は振替高	294	11	19	325	△325	—
計	32,821	6,317	467	39,605	△325	39,280
セグメント利益	657	446	2	1,105	△115	990

- (注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△325百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。
- 2 セグメント利益の調整額△115百万円は、報告セグメントに帰属しない新規の事業・市場開拓等にかかる費用であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1、2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	放送事業	ハウジング事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	34,192	5,517	518	40,228	—	40,228
セグメント間の 内部売上高又は振替高	256	10	20	287	△287	—
計	34,448	5,528	539	40,516	△287	40,228
セグメント利益	1,000	454	60	1,516	△150	1,365

- (注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△287百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。
- 2 セグメント利益の調整額△150百万円は、報告セグメントに帰属しない新規の事業・市場開拓等にかかる費用であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。